

## 『大野のあゆみ』改訂版の刊行に際して

昭和四十三年の発刊以来、『大野のあゆみ』は、わかりやすく読みやすい郷土史の歴史書として親しまれ、子どもたちの学習の参考書としても活用されてきました。歴史に関する本は数多く出版されておりますが、このように誰もが親しめるものは数が少なく、そのような意味では、この本が郷土史学習に果たした役割は大きいものがあります。

私たちの日々の暮らしは、古代より連綿と続けられた先人たちの営みの上に成り立っています。歴史を学ぶことは単に過去の事実を知るものではなく、未来への指針を得る助言となります。このたびの『大野のあゆみ』改訂版の刊行は、最新の郷土史書の出版を渴望する声を受けて実現したものであり、市民の皆様の歴史に対する関心の深さを感じます。

郷土の豊かな自然を背景に培われた文化や産業は、先人が形成してきたかけがえのない遺産です。初版発刊から三十六年。その間、社会や生活様式も大きく変わり目覚ましい発展をみせ、大野の歴史も古代から続く記録を着実に刻み続けています。私たちはこれら先人の営みを知り、またそれを子孫に伝える責務を担って

います。そのような意味でも、このたびの市制五十周年という節目の年にあわせて刊行できますことは、まことに意義深いことと喜びに堪えないところです。多くの人に目を通していただき、郷土の歴史を理解し、ますます愛郷の念を深めていただくことを切に希望するものであります。

終わりにあたり、非常に厳しいスケジュールのなかで、原稿の執筆や編集にあたられました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、快く資料をご提供くださいました皆様に厚くお礼申し上げ発刊の挨拶といたします。

平成十六年七月

大野市長 天谷光治

# 目次

『大野のあゆみ』改訂版の刊行に際して

大野市長 天谷 光 治

## 一、遺跡をたずねて

### 1 縄文・弥生時代の大野

大野盆地と私たちの祖先／縄文時代の生活／弥生時代の生活

### 2 奈良・平安時代の大野

古墳時代の大野／奈良時代の大野／平安時代の大野

## 二、人々の生活と信仰

自然への祈り／仏教の伝来／泰澄大師と山岳信仰／経ヶ岳の経筒／黒谷観音の経塚

## 三、戦乱の続いた大野

### 1 平安時代の終わりがら

武士のおこりと平氏の落人

### 2 鎌倉時代の

幕府の成立と荘園／幕府の滅亡／（越前牛ヶ原地頭自害事）／苦しい庶民の生活と新しい仏教

### 3 南北朝から戦国時代へ

三〇

二三

二一

二一

一三

六

一

一

南北朝時代の 大野 / 朝倉氏の 越前支配 / 景鏡の 最期と 平泉寺の 焼討ち / 大野の 芸能文化

#### 四、金森長近大野支配

- 1 城下町をつくる……………四七
- 長近大野にはいる / 城を築く / 城下町をつくる / (金森長近小伝)
- 2 太閤検地と刀狩……………五七
- 3 商工業の保護……………六一
- 4 鉾山の開発……………六三
- 5 長近のあとの領主……………六四

#### 五、江戸時代の政治と人々の生活

- 1 大野藩の成立と政治……………六七
- 福井藩の成立 / 松平大野藩・勝山藩・木本藩の成立 / 松平時代の政治 / 土井大野藩の成立 / 入り組んだ藩領
- 2 社会のしくみ……………七六
- 大名の取り締まりと幕藩体制 / 身分の秩序 / 村と町 / 宗教と人々の生活
- 3 武士の生活……………八五
- 大名と家臣 / 武士の生活 / (越前大野城の再建の話)
- 4 城下町大野と町人の暮らし……………九一
- 城下町大野 / 町人と町役人 / 商いのすがた / 交通の発達 / 祭りのにぎわい

5 政治の困窮と改革……………一〇二

代々の大野藩主／藩財政の困窮と改革／災害ときぎん／百姓一揆の高まり

六、土井利忠と藩政の改革……………一一五

1 学芸の奨励……………一一五

利忠が藩主になる／明倫館をひらく／大野藩の洋学／砲術の訓練／種痘と病院の開設／蝦夷地の開拓

2 大野藩の殖産興業……………一二四

産業の奨励／面谷「大野銅」の開発と「大野屋」の交易／各地に大野屋をひらく／岡島辰五郎と大野との関係

／水戸浪士の騒動

3 大野藩の西方（西瀛）領……………一三〇

### 七、夜明けをむかえる大野……………一三三

1 明治維新と大野……………一三三

新しい制度／学制がしかれて／古い歴史をもつ有終小学校／伝統をほこる大野中学校／女学校の誕生／箱館戦争

／（みのむし騒動）／大野町の大火／水害を防ぐ／西南戦争／日清・日露の戦争

2 のびゆく産業……………一五六

米どころ大野／バツタン機／和紙づくり／林業のすすめ／木炭の生産／特産葉たばこ／盛んだった養蚕／地下資

源の宝庫／盛況をきわめた面谷鉱山

3 交通・通信の整備……………一六八

## 八、大正から昭和へ

自由に旅ができる／美濃道と勝山道／すすむ郡道の改修／陸運会社と乗合馬車／乗り心地よい人力車／郵便局のはじまり／ランプから電灯へ

### 1 激しい移りかわり

おさの音高い工業／おしよせる不況の嵐／不況をのりこえる努力／苦しい農家の暮らし／生産を高める工夫

一七七

### 2 発達する交通・通信

京福電鉄の開通／はじめての乗合自動車／珍しかった電話／電報の取り扱い

一八四

### 3 すすむ郷土の開発と商業の発達

相次ぐ発電所の建設／開発のめざましい中竜鉾山／かわりゆく商店街／商圏の移りかわり／取り引きの改善

一八八

### 4 大正・昭和の教育

充実する学校／盛んになった郷土教育／農業の担い手を育てた農林学校

一九四

### 5 太平洋戦争と大野

強まる戦争へのかまえ／戦争の激しさ／ぜいたくは敵だ／国民学校うまれる／生徒も工場へ／空襲にそなえて

一九七

## 九、戦後の復興から成長の時代

### 1 戦後の生活

終戦とともに／食糧の不足／苦難の道

二〇五

### 2 大野市の誕生

二〇七

新しい市政の発

3 産業の復興と成長……………二〇八

かわる農村／早場米づくり／特産物と畜産／養蚕／農業の近代化／減っていく農村人口／大野市農業協同組合／かわる山村／繊維工業の移りかわり／かわる工場／大野織物工業協同組合／木材工業／商店街のようす／かわる商店街／商業の改善／真名川総合開発／扇状地に田畑を／真名川用水の大改修／塚原野の開発／九頭竜川総合開発／真名川防災ダムづくり

4 交通・通信の整備……………二三五

交通の発達／越美北線／京福電鉄／道路の整備／通信の発達

5 災害をのりこえて……………二四三

伊勢湾台風／北米濃地震／第二室戸台風／三十八年豪雪／四〇・九風水害／五十六年豪雪

6 教育の改革と充実……………二四八

戦後の教育／新しい校舎／学校給食／新しい教育／大野高等学校／水本女学校の創立／大野東高等学校／教育改革

十、昭和から平成へ……………二五九

1 石油危機を乗り越えて……………二五九

工業の発展／繊維産業の動き／中竜鉾山閉鎖へ／転換を迎える農林業／商業の動き

2 大野市の変容……………二六九

3 新世紀のまちづくりを目指して……………二七五

龜山周辺整備の基本計画／中部縦貫自動車道の整備／これからのまちづくりと市町村合併／自然環境の保全と活用／「学びの里」づくり／「住みたい 住みつけたい」まちを目指して

### 巻末資料

地区別村々石高一覧……………二八三

藩領の変遷……………二八九

大野市・和泉村の文化財目録……………二九五

年表……………三〇〇

参考文献……………三一八

編集にあたって

『大野のあゆみ』改訂版編集委員会 委員長 小倉 長 良

### 正誤表

誤

正

四〇頁 七行目

三月十五日<sup>x</sup> ↓ 八月十五日<sup>o</sup>